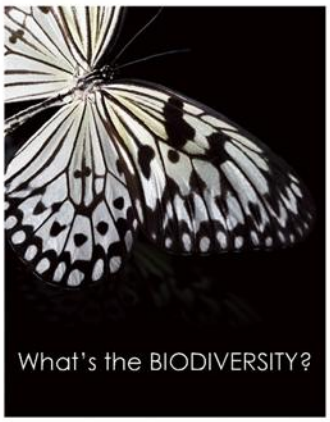
2010年10月1日発行

京都国連寄託図書館

News Letter No. 3
Autumn 2010

Open: 月-金曜日 10:00-17:00 ＊土日祝日、年末年始、夏期休暇期間は閉館
〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1 立命館大学衣笠キャンパス明学館 1 階



生物多様性について考える

今年は国連が定めた「国際生物多様性年」。
10月には名古屋で生物多様性条約第10回締約国会議（CBD/COP10）も開催されます。

これを機会に生物多様性について考えてみませんか。

生物多様性とは 生き物の「個性」と「つながり」

地球には さまざまな生き物がさまざまな環境に適応して暮らしています。
そうした生き物の個性とつながり＝生物多様性は、人びとにたくさんの恵みをもたらします。生き物に国境がないように、そこから得られる恩恵もすべてのひとに平等に配分されることが望まれます。生き物の「個性」をまもり、生き物どうしの生活の「つながり」を大事にしていくことにより、そこから人々が受ける恩恵を持続させようと、いま国連を中心に世界各国が生物多様性の問題に取り組んでいます。





生物多様性条約（生物の多様性に関する条約）
Convention on Biological Diversity（CBD）

1992 年にﾘｵ･ﾃﾞ･ｼﾞｬﾈｲﾛで開催された国連環境開発会議（地球サミット）で採択された条約のひとつ。生物の多様性を「生態系」「種」「遺伝子」の３つのレベルで捉え、生物多様性の保全、その構成要素の持続可能な利用、遺伝資源の利用から生ずる利益の公正な配分を目的としています。 http://www.cbd.int/



生物多様性の３つのレベル

国際生物多様性年 the International Year of Biodiversity

生物多様性条約が果たす役割についての認識を高めること、そして条約の目的達成のために、条約の実施と取組みに対してさまざまな人々の参加を促進することを目的に、2006 年の生物多様性条約第８回締約国会議の勧告に従い、同年 12 月の第 61 回国連総会において、2010 年を「国際生物多様性年」とすることが宣言されました。 http://www.cbd.int/2010/welcome/



生物多様性、もっと知りたい

- 生物多様性条約第 10 回締約国会議支援実行委員会
  http://www.cop10.jp/aichi-nagoya/
- 環境省自然環境局 生物多様性センター
  http://www.biodic.go.jp/

■当館所蔵資料■



CBD 発行ﾆｭｰｽﾚﾀｰ『Gincana』(左)
同『CBD Year in Review 2009』(右)

地球のいのち、つないでいこう

生物多様性を守ります

【イベント予告】

絵本をひらけば世界がみえる
“国 際 協 力 絵 本 展”
2010.10.12(火)-11.20(土)



京都国連寄託図書館に併設する立命館大学国際協力資料センターで、人権、紛争、環境などの国際問題や国際理解を題材とした絵本展を開催します。
この機会に ぜひご家族で世界のことを考えてみませんか。

絵本展開催中は、京都国連寄託図書館は土曜日も臨時開館いたします。

京都国連寄託図書館では、年四回ニュースレターを発行します。ニュースレターの送付をご希望の学校関係者の方は、下記までご連絡ください。なお、個人への直接送付は行っておりませんのでご了承ください。

発行：京都国連寄託図書館
〒603-8577
京都市北区等持院北町 56-1
立命館大学衣笠キャンパス明学館 1 階
TEL　075(465)8107
FAX　075(465)8334
URL：
http://www.ritsumei.ac.jp/acd/in/cger/kunl/index.html

Kyoto United Nations Depository Library
News Letter No.3

［終了報告］児童労働に関するパネル展

2010.6.1-6.30





6 月 12 日の児童労働反対世界デーにあわせて開催した児童労働に関するパネル展は、無事閉幕しました。お忙しいなかご来館いただき、ありがとうございました。こうした展示が皆さまにとって、世界の抱える問題について考えるきっかけになればさいわいです。

またパネル展の際に「児童労働をなくすにはどうすればよいか」という問題について、皆さまの意見を一枚の葉に託していただきました。その一部を紹介させていただきます。



●全世界の人々がこの問題に目を向け、向き合わなければならない。そして児童労働の現状を知り、自分ができることを考え、行動に移さなければならない。

●まずはじめに子どもたちが働かなければならない状況が存在すること自体がおかしいことだと思います。そのために親の雇用と収入の安定が必要だと思います。彼ら自身のやる気とわたしたちのはたらきかけにより、彼らを自立の道へ導くことも不可欠です。

●当事者の思う正義を知る!

<展示の感想もお寄せいただいています>
●様々な国で行われている児童労働。僕らには何ができるのか、彼らのなにをわかってあげられるのか。とても考えさせられた。

国連機関紹介 3
国連環境計画 United Nations Environment Programme

国連環境計画[UNEP]は、環境分野を対象に、国連活動・国際協力活動をおこなう国連機関です。
自然環境保護に関する国際条約の管理もしており、生物多様性条約の事務局にもなっています。

UNEP